

飯塚市議会だより

No. 17

2009.11.1

年5回発行：飯塚市議会 〒820-8501 飯塚市新立岩5番5号 電話 22-0214 FAX 28-1251

ホームページ：http://www.city.iizuka.lg.jp/giji/ メールアドレス：giji@city.iizuka.lg.jp

飯塚市議会第5回定例会の結果

9月定例会 鯉田工業団地造成工事の設計変更に伴う補正予算、及び契約の変更議案を可決

平成21年第5回定例会を9月9日から9月30日まで開き、市長提出の平成21年度飯塚市一般会計補正予算など38議案、議員提出の意見書案5議案、請願6件、合わせて49件を審議しました。

その結果、市長提出議案19件を原案可決、1件を承認、議員提出議案5件を原案可決、請願2件を不採択、4件を継続審査としました。

また、平成20年度飯塚市一般会計決算などの認定議案14件については特別委員会を設置し、閉会中の継続審査として付託、平成20年度飯塚市水道事業会計決算などの認定議案4件については継続審査としました。

議決した主な内容は次のとおりです。

市長提出の議案

原案可決したものの

- 平成21年度飯塚市一般会計補正予算(第4号)

国の経済対策に係る補正等に伴い、歳入、歳出にそれぞれ5億8318万1千円を追加するものです。

- 平成21年度飯塚市工業用地造成事業特別会計補正予算(第1号)

鯉田工業団地造成工事における新たな軟弱地盤層の出現に伴い、工事の設計を一部変更し、歳入、歳出にそれぞれ1億4810万9千円を追加するものです。

- 飯塚市八木山高原集会所条例を廃止する条例

本集会所については今後も利用者増が見込めず、継続して管理運営する必要性が低いことから、平成21年11月30日をもって廃止するものです。

- 飯塚市市民広場条例の一部を改正する条例

遠賀川床上浸水対策特別緊急事業に伴い、市民広場における駐車広場の位置を変更するものです。

- 財産の取得(鹿毛馬神籠石)

国指定史跡である「鹿毛馬神籠石」の保存整備、公園化事業用地として、国の補助を受け、平成22年度までの計画で土地を取得するものです。

- 字の区域の変更

鹿毛馬土地改良区におけるほ場整備事業の換地処分に伴い、字の区域を変更するものです。

- 変更契約の締結(鯉田工業団地造成)

- 【1工区】(工事)

- 変更契約の締結(鯉田工業団地造成)

- 【2工区】(工事)

- 変更契約の締結(鯉田工業団地造成)

- 【3工区】(工事)

- 変更契約の締結(鯉田工業団地造成)

- 【4工区】(工事)

- 変更契約の締結(鯉田工業団地造成)

- 【5工区】(工事)

工事費の変更に伴い、それぞれ変更契約を締結するものです。

承認したものの

- 専決処分の承認(平成21年度飯塚市一般会計補正予算【第3号】)

7月24日からの大雨災害に伴い、災害救助、災害復旧等に要する経費を補正するもので、歳入、歳出にそれぞれ27億362万7千円を追加するものです。

議員提出の議案

原案可決したものの

- 大胆できめ細かな雇用対策を求める意見書の提出

- 地方分権改革推進計画策定と新分権一括法制定を求める意見書の提出

- 安心社会実現のため平成22年度予算の確保を求める意見書の提出

- 地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書の提出

- 生活保護の老齢加算・母子加算の復活を求める意見書の提出

以上5件の意見書は各関係大臣、関係機関等に送付しました。

請 願

- 不採択としたもの
- 「最低保障年金制度」の創設を求める請願
- 物価に見合う年金引き上げを求める請願

継続審査としたもの

- 高齢者用高層住宅建設企画調査についての請願（飯塚本町火災跡地の再開発について）
- 学校給食の補助を求める請願
- 学校給食の米飯委託費に関する請願
- 学校教育行政において保護者の意見を尊重することを求める請願

陳 情

- 新型インフルエンザ対策等の公衆衛生活動を強化するために県内保健福祉環境事務所統廃合計画の中止を求める陳情
- 西横田町内の水害防止に対する陳情
- 「飯塚井筒屋」営業規模縮小後の上層階活用に関する陳情
- 「井筒屋」飯塚サテライト店の上層階活用に関する陳情
- 天皇陛下御即位二十年奉祝賀詞決議に関する陳情
- 公共施設の民営化に関する陳情
- 公共施設等の民営化に関する陳情
- 公共施設等のあり方に関する陳情
- 地方卸売市場の民営化に関する陳情

第5回定例会 会期日程

9月9日（水）

- ・ 会期の決定
- ・ 行政報告

・ 委員長報告、質疑、討論、採決

・ 提案理由説明

・ 提案理由説明、質疑、委員会付託

・ 議席の一部変更

9月11日（金）

・ 経済建設委員会

9月16日（水）

・ 委員長報告、質疑、討論、採決

（経済建設委員会）

・ 一般質問

9月17日（木）

・ 一般質問

9月18日（金）

・ 一般質問

・ 議案に対する質疑、委員会付託

・ 追加議案の提案理由説明、質疑、委員会付託

・ 請願の委員会付託

9月24日（木）

・ 常任委員会（厚生、経済建設）

9月25日（金）

・ 常任委員会（総務、市民文教）

9月28日（月）

・ 公共施設等のあり方に関する調査

特別委員会

9月30日（水）

・ 委員長報告、質疑、討論、採決

・ 報告事項の説明、質疑

・ 署名議員の指名

平成20年度決算特別委員会

平成20年度関係決算認定議案等を審査するため、特別委員会を設置しました。委員は次のとおりです。

委員長	佐藤 清和
副委員長	安藤 茂友
委員	榎井 莞爾
〃	芳野 潮
〃	田中 裕二
〃	上野 伸五
〃	田中 博文
〃	江口 徹
〃	柴田 加代子
〃	兼本 鉄夫
〃	秀村 長利
〃	原田 佳尚
〃	松本 友子
〃	古本 俊克
〃	岡部 透

議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会ほどなたでも傍聴できます。

次回定例会は11月30日（月）に開会の予定です。

日程の詳細については、議会ホームページをご覧ください。議会事務局（電話 0948・22・0214）までお問い合わせください。

一 般 質 問

市の一般事務について、17名の議員が一般質問を行いました。その一部を抜粋し、要旨を掲載します。

佐藤 清和 議員

7月24日の豪雨災害について

【議員】今回の水害発生時、旧穂波地区については、職員が現場に向いていなかった。初動マニュアルについて、地区に精通した職員を配置するなど見直す必要があるのではないか。

【総務課長】支所へ増員する予定の10名の職員については、旧町出身者を充てるよう努めているが、災害対策本部の編成は平常時の組織を前提に行われることから、支所についても支所の職員により対策本部が編成される。現地に行けなかつたなど、今回の災害に際しては反省すべき点が多々あり、初動マニュアルについては見直しを行う。

児童クラブ事業の運営について

【議員】合併前は、旧市町で運営形態が異なっていたが、現在は旧筑穂町を除き統一して委託されている。これにより何か問題は生じていないのか。

【児童育成課長】旧町では青少年育成会の方が事業に関わったことがなかったのが当初戸惑ったが、現在は理解を得ている。しかし、サポート委員会の役割については、十分に理解を得ていない地域が

あるので、早急に対応していきたい。
【議員】事業に学校、地域、保護者が関与することは、素晴らしいと考えるので、今後も十分な連絡調整を図ってほしい。

鯉川 信二 議員

7月24日及び26日の水害に関して

【議員】浸水メカニズムの解析が急務であり、その結果が出たら、当然、飯塚市総合防災計画の見直しを行うと考えてよいのか。

【土木管理課長】各所管で、防災のための事業が繰越未完成となっている。今回の浸水メカニズムの解析を早急に行い、基本計画の見直しを検討していきたい。

【議員】福岡県は、建花寺川の抜本的な改修を行うと約束してくれた。本市も大日寺川の浚渫や河川改修をぜひとも行って欲しいが、どう考えているのか。

【土木管理課長】大日寺川の改修工事については、来年度より着工予定としている。今回の水害により護岸の構造物の崩壊や法面の崩落が発生しており、県の検証による計画を基にして、事業を進めていきたいと考えている。

【議員】今年度の事業で、勝盛公園の改良工事が予定されているが、この工事の際に、公園のため池の雨水調整池化をぜひ図っていただけないか。

【都市計画課長補佐】池の浚渫工事を予定しており、この工事の中で、池の底の掘削やゲート部分の改良などにより大雨時期の調整池能力の更なる向上を図りたいと考えている。

【議員】自然と謙虚に向き合い、その警告を受け止めて、防災に努めてほしい。

上野 伸五 議員

学校教育・施設整備について

【議員】スクールニューディール構想に基づき交付金について、今後はどのように活用していくのか。

【教育施設課長】交付金を活用して前倒しで行う予定の事業として、耐震補強5校、太陽光発電3校の工事について、県及び関係各課と協議を行っている。

【議員】交付金の適用範囲、適用基準を的確に把握して、出来る限り積極的に活用してほしい。

窓口サービスについて

【議員】現在導入されているフロアマネージャーについて、単に財政効果を目指とするならば止めるべきと考える。派遣社員の代わりに管理監督職員が業務を行うのだから、財政効果は得られない。現時点で、どう評価しているのか。

【総務課長】市民サービスと職員の資質向上を目的に導入され、特に問題は発生していないが、配置職員のスケジューリング調整に苦慮しているという声が多くある。

市街地整備について

【議員】住宅ストック計画など、市内均一に進行していない計画が散見されるが、各計画を策定する際には、全市的な視野に立ち総合的に判断しているのか。

【企画調整部長】最上位にある総合計画との整合性を図りながら策定している。

道祖 満 議員

行財政改革について

【議員】総人件費の抑制が必要であるならば、愛知県高浜市や香川県善通寺市がアウトソーシングを進めて効率的な行政運営を行っているので、本市としても導入を検討する考えはないのか。

【行財政改革推進室主幹】高浜市、善通寺市は、役所のスリム化を図るためアウトソーシングの会社を市が設立し、職員及び経費の削減と合わせて地域の雇用創出にも貢献している。行革の最重要項目である総人件費の抑制をはじめ、市民連携の活用を含んだ全事務事業の抜本的な見直しを行う予定であり、可能な限り住民サービスを低下させず行政のスリム化を図ることが重要課題と考え、先進自治体を参考に検討していきたい。

JR九州の踏切での歩行者の安全通行について

【議員】新飯塚駅付近の立岩踏切は、高校生の通学路であり、一般の方と合わせて多くの歩行者が利用している。車を避けて線路内を歩いている状況であるが、歩行者の安全確保についてどのように考えているのか。

【土木管理課長】立岩踏切は、車道と歩道とが区分されていないため、接触事故等の危険性が危惧される。今後は、JR九州へ早急な改善を要望していく。

柴田 加代子 議員

教育現場における薬物乱用防止について

【議員】子ども達が薬物に関する正しい認識を持てるよう、厚生労働省が派遣する薬物乱用防止キャラバンカーを活用した啓発活動を行ってもらえないか。

【学校教育課長】薬物乱用の怖さを実感するために有効と考えるので、学校薬剤師と相談し、地域での研修会等との連携も検討した上で実施していきたい。

内住の産業廃棄物処分場問題について

【議員】処分場の放流口である河川からは久保白ダムへの取水を行っていることもあり、汚水の人体への影響も心配される。今後は飯塚市全体の課題として、解決に向けて取り組むべきではないか。

【環境整備課長】タウンミーティングでも多く意見を頂いている問題なので、今後も地元の住民会議の方々と協議しながら市民の不安解消に努めたい。

まちなか活性化対策について

【議員】飯塚井筒屋の空きスペースである上層階を子育て支援センターとして活用する可能性が新聞報道されたが、その後どのように検討されているのか。

【商工観光課長】中心市街地活性化に向けた取組みとして、商工会議所や商店街等と検討を行っているところである。

【議員】子育てをする人の交流の場、子どもの屋内の遊び場として、ぜひ実現に向けて取り組んでほしい。

瀬戸 元 議員

市有地売却について

【議員】市有地売却による年間収入の目標額はいくらか。また、今年度の現在までの状況はどうなっているか。

【管財課長】目標は1億7千万円で、今のところ約5千万円の収入がある。

【議員】売却を決定した市有地のうち、額田地区勢田の山林が公募に至っていないということだが、なぜなのか。

【管財課長】売却について地元で説明してきたが理解を得られず、売却処分中止を求める異議申立書が提出されている。

【議員】事前に地元の自治会長等に相談していたのではないのか。

【管財課長】この土地は合併前から勢田区有の財産と認識されていた経緯もあるので、売却について地元で事前に概要説明を行い、その段階で異議はなかった。

【議員】それを受けて財産管理審議会等の所定の事務手続を行い、測量や不動産鑑定の際費をかけたのではないのか。

【管財課長】市の所有する土地のことであり、地元にも異議はないと認識してそのような手続を進めてきたものである。

【議員】額田地区では旧町時代からの区有財産の認識に加え、土地から得られる収益に関する分収金の協定を過去に結んだ経緯もあり、市と地元との間で意見の違いがあるようだが、土地所有権問題の早期解決に努め、売却可能な財産を市の財政に役立てられるようにしてほしい。

楡井 莞爾 議員

子どもの成長を支える学校教育について

【議員】教育委員会主催で小中学校の校長等が参加した本年5月開催の人権同和研修会では、部落解放同盟の役員が出席し、主催者でないのに挨拶やまとめの発言をしたが、私的な団体の関係者から指導・助言を受けるのは公教育における不偏不党の精神に反するのではないのか。

【学校教育課長】日頃から人権同和教育について指導・助言を頂いている団体に参加依頼をしたものであり、不偏不党の精神には反していないものと考えます。

【議員】子どもの学力向上や市民道徳の涵養のためにも、少人数学級を小中学校全体に広げていくべきではないのか。

【学校教育課長】本市の少人数学級の学力検査結果は全国平均を上回っている。

保護者や現場の教師からも好評なので、関係課と相談しながら推進を図りたい。

【議員】本市の教育予算が年々減少していることについてどう考えているのか。

【教育総務課長】行財政改革を進める中で全体として減額となっているものであり、各支所の教育委員会分室職員の削減等による人件費の減が主な要因である。

【議員】教育予算の減少は、子どもは地域の宝とする市長の政治姿勢に逆行している。子どもの豊かな成長のため憲法や教育基本法に基づく教育や学校のあり方を再検討しなければならないと考えます。

川上 直喜 議員

安心できる介護制度について

【議員】要介護認定の軽度化傾向を改めるため本年10月から新たな認定基準が導入されるが、利用制限の性格を持つ要介護認定は廃止して、ケアマネージャーなど現場の専門家の判断で適正な介護を提供する制度を作るべきではないのか。

【保健福祉部長】要介護認定については国において今後も検証を重ねて改善されていくと考えるので、市としては示された手順に従い運用していきたい。

【議員】介護労働者の処遇改善のための独自施策を、市長の決断により市の単独費を支出しても実施できないのか。

【市長】介護保険に関する地方の負担が大きくなるのは間違いないと思うので、それを補ってもらおう財政的措置を国にお願いしなければならないと感じている。

【水害対策について】

【議員】7月の豪雨により市内中小河川が氾濫した。建花寺川については、伊岐須付近から下流への重要水防箇所指定の拡張や、遠賀川につながる水路の新設など流下水量を大幅に減らす計画の検討を県に強く申し入れるべきではないのか。

【都市建設部長】現在、河川の水理解析を国・県と一緒に進めており、それに伴ういろいろな施策を要望していきたい。

【議員】大日寺川については計画を立てて優先的に対策を打つべきではないのか。

【土木管理課長】早急に氾濫原因を検証

梶原 健一 議員

集中豪雨について

【議員】水害において内水排除に代わるものとして、調整池が大きな役割を持つと考えるが、現在造成中である姿川調整池、明星寺調整池はいつ完成するのか。

【土木管理課長】県事業として平成21年度中に姿川調整池、平成24年度には明星寺川調整池が完成する予定であり、浸水対策に大きく貢献できると考えられる。

【議員】建花寺川流域等においても多大な被害を受けていることから、土地の確保等困難な問題もあると思うが、調整池等の整備に取り組んでほしい。また地理的には、旧筑穂、旧穂波地区に降った雨水が旧飯塚地区に流れてくることになるので、旧筑穂、旧穂波地区においても調整池の造成やそれに準ずる対応策に取り組んでほしい。

【新型インフルエンザの予防措置や対策について】

【議員】感染予防策及び市民に対する周知方法はどうなっているのか。

【健康増進課長】通常のインフルエンザと同様の対応を行っているが、感染力が強いことからマスクの着用、手洗い、うがい等の励行等の感染予防に努めるよう市報掲載、自治会隣組回覧やホームページにより周知を図っている。また、保育所、幼稚園、小中学校では手洗い、うがいの励行により感染予防に努めている。

し、今後計画的に改修工事を行いたい。

原田 佳尚 議員

7月24日からの豪雨に伴う旧庄内地区の関の山・鳥尾線の災害について

【議員】本市道は過去にも土石流災害が発生しており、原状回復されたものの、今回も同様の土石流災害が発生した。原状回復による復旧工事では今後同様の災害が発生するものと考えられるが、今回の災害復旧工事についてはどのような見解を持っているのか。

【土木管理課長】橋をかけるような大幅な形状の変更はできないが、被害再発防止を第一に考慮し、コンクリート製の直壁で両側を固めるなどの補強工法により施工する計画である。また水路についても、前回とは工法を変え計画している。

【議員】今回災害により土砂が流入した山ノ口ため池が決壊した場合は、下流の汐井川流域にある約90戸の住宅、農地、道路等に甚大な被害が及ぶことが想定されるということであり、当時は避難勧告が発令され大変危険な状況であったが、いまだに復旧工事に着手されていない。復旧の計画はどうなっているのか。

【農林課長】本ため池への土砂等の流出源である大山の土砂災害復旧工事を県が行う予定であり、当該事業に併せ本市もため池及びこれにつながる水路の復旧工事を実施するようにしている。現在調査を行っており、年度内の復旧を目指している。

人見 隆文 議員

旧庄内地域の活性化に資する施策について

【議員】マスタープランにおける旧庄内地域の活性化の可能性及び方向性についてどのような見解を持っているのか。

【総合政策課長】本地域における整備方針として、庄内フキ、富有柿といった特産物のさらなるブランド化や、農産物直売所の庄四季物を中心とした販売経路の充実が挙げられる。また、子供が豊かに育つ教育環境の整備を図るとともに、既存の生涯学習施設を核に、あらゆる年齢層の学習ニーズに対応できる機能を充実させ、生涯学習に関する情報発信機能を整備し推進していくこととしている。さらに、筑豊緑地を核として、健康、医療、福祉の連携を図りながら、市民の健康づくりの一翼を担う施設の整備等を行っていくことを本地域活性化の方向性としている。

「政権交代」となった国政下における市政運営について

【議員】政権交代に伴い予算の凍結や見直しが行われた場合、本市の財政運営においてどのように対応していくのか。

【財政課長】現時点では具体的な情報がないため、どのような影響が出てくるのかも分からない状況である。新聞報道等によると、既決の補助事業等についても見直しを行うということであるため、現在本市で計上している補助事業等の執行

については県等を通じて情報収集し、遺漏のないよう対応していきたい。

八見 雄二 議員

新型インフルエンザ対策について

【議員】罹患した場合に重症化しやすい高齢者や幼児、妊婦において、どのような対応策を検討しているのか。

【健康増進課長】新型インフルエンザウィング委員会において重症化した患者への対応策が検討され、かかりつけ医療機関で対応困難な場合は、妊婦・幼児・小児は飯塚病院で対応する、透析患者は主治医が透析可能な医療機関を紹介する、糖尿病等基礎疾患のある者・高齢者・その他重傷者は飯塚市立病院・福岡県済生会福岡第二病院で対応するという取り決めが行われている。

がん対策について

【議員】国の平成21年度補正予算に基づくがん検診推進事業として、乳がん検診と子宮頸がん検診が実施されるということだが、乳がん検診と同様に子宮頸がん検診に関しても、45、50、55、60歳を対象者として追加するべきではないか。

【健康増進課長】今回の子宮頸がん検診については40歳を超える方は対象となっていない。しかしながら、若干の負担はあるものの、本市独自の事業として既に実施しているがん検診において受診していただくことができる。

田中 裕二 議員

水害対策について

【議員】取水期前に河川や水路、側溝等の整備により被害を軽減できると考えられるが、そのような対応はできないのか。

【土木管理課長】今回の水害により、日頃の点検、また河川、水路、側溝等の整備による通水の確保が重要であることを再認識している。特に今回は河川の氾濫や溢水による浸水被害が拡大しているため、国、県に要望するとともに、調査、解析をもとに河川、水路、側溝等の維持管理に努めていく。

コミュニティバスの運行について

【議員】利用者からどのような苦情、要望等が寄せられているのか。

【総合政策課長】バス停の車内アナウンスがないことに対する苦情や、公民館・病院の利用に応じたダイヤの設定、土日祝日やお盆休み期間中の運行、さらに穂波南回り線の穂波福祉センターへの乗入れ等の要望があった。車内アナウンスについては、委託業者にその徹底をお願いし、現在はサービスがよくなったとの声をいただいている。また、ダイヤ設定・運行ルートの変更、土日運行等については地域公共交通協議会へ報告し、協議、検討を行う予定である。

【議員】市民に喜ばれ、より多くの方に利用されるよう取り組んでいただき、何としてでも存続させてほしい。

旧庄内町地域の活性化について

【議員】庄内支所周辺施設について、今後どのように整備、再編していくつもりなのか。

【行財政改革推進室主幹】第一次飯塚市総合計画において、既存の生涯学習施設の機能を核に本市における生涯学習に関する情報発信機能を整備する旨を明記しており、これを念頭におき効果的、効率的な再編整備ができるよう検討している。

【議員】生涯学習の核となる図書館の会議室などが一般的に開放されていないのはなぜか。

【生涯学習課長】図書館の利用については、「飯塚市立図書館条例施行規則」に利用条件が明記されており、図書館事業の目的に沿った利用者限り会議室等の利用を認めている。

【議員】その制限のため、文化的なサークルの活動が十分にできない現状がある。旧生涯学習交流会館の再開・利用も含め利用制限について検討して欲しい。

防犯灯の果たす役割について

【議員】安全・安心なまちづくりを推進する本市として、防犯灯の設置費用等を負担することはできないのか。

【総務課長】市民協働の理念に基づき、市は設置に関し一定の助成を行っており、維持管理については自治会が負担するものと考えている。

水害について

【議員】7月の豪雨により東町や徳前などの遠賀川流域に浸水被害が出ており、当該地域の住民の方々にしてみれば、もう少し早くポンプが稼動していれば被害も小さくなったのではないかという思いもあるが、運転水位基準により、それができない状況があった。西部排水区ポンプ場の運転水位は市が設定しているのであれば、変更することはできないのか。

【下水道課長】ポンプメーカーと協議し、運転水位基準の変更について検討したい。

【議員】国土交通省所管のポンプの運転水位基準についても変更できないのか。

【土木管理課長】変更については、国土交通省に即刻要望したいと考えている。

【議員】要望する際には、国や県に対し水害の経緯や被害状況を具体的に説明するとともに、市民の安全を守るという観点に重きを置いて要望して欲しい。

【議員】今回の災害対策本部の設置時間についてどのように考えているのか。

【総務課長】設置のタイミングについては、結果として遅かったと反省している。

【議員】市民の安心安全を守る行政として、危機管理意識が欠けていると言われているように努めて欲しい。また、避難勧告についての認知が低いいため、市民への周知・啓発を徹底してもらいたい。

コミュニティバスについて

【議員】コミュニティバスの利用者数は当初予定していた人数の半分にも満たないという状況であるが、当初の利用者数の見直しはどのように考えていたのか。

【総合政策課長】運賃が百円であるため、旧4町で無料で運行していたふれあいバス等の利用者数の1割減と試算した。

【議員】利用者が少ない大きな要因は、バスの使い勝手が悪いことであると考えているが、早急に運行ダイヤの改正を行うことはできないのか。

【総合政策課長】九州運輸局へ許可申請等の手続も必要なため早急に変更することは困難であるが、運行ダイヤの変更協議を来年度に向けて行う予定である。

【議員】利用者増を図るために今、抜本的な見直しが必要ではないのか。

【総合政策課長】利用者の混乱を招くため現段階で大幅な見直しは困難であると考える。利用者からの意見や要望を十分に検証し、見直しを行いたいと考えている。

【議員】コミュニティバスが定着していない今だからこそ、大幅な見直しを行って欲しい。利用者が少なければ市の財政を更に圧迫することになり、この事業の存続が危ぶまれると考える。あらゆる方策を検討し、本市のコミュニティバスを一層充実させ、市民生活に寄与する事業となることを期待する。

子育て支援について

【議員】公民館等を使ったつどいの広場事業についてどのように考えているのか。

【中央公民館長】現在は行っていないが、今後、本事業の公民館施設等の活用について関係課と協議したいと考えている。

【議員】つどいの広場は鯉田1カ所だけであり次世代のニーズを満たすには不十分。公民館等を有効に利用すべきである。

【議員】「赤ちゃんの駅」について飯塚市の取り組みはどのようにしているのか。

【児童育成課長】「赤ちゃんの駅」とは、店舗等に設けたおむつ換えや授乳用の場所と認識している。市内では、公共施設にベビーキーパー28カ所、おむつ交換施設31カ所を設置し、民間事業所についてはそれぞれ1カ所と7カ所設置している。また、授乳スペースは6カ所あり、ミルクのお湯提供施設は226カ所ある。今後も施設整備の推進を含め、安心して乳幼児を連れて外出できる環境づくりに取り組むたい。

【議員】この点が充実していないと、乳幼児がいる家庭が買い物等に行くときに、その街は選ばれず、大型商業施設に行ってしまう。そういったことを含め、事業の意義をしっかりと認識して市民が郊外の施設ではなく飯塚市内の施設へ出かけるるように、この事業を充実させて欲しい。